

医療システム部会 全体活動報告

目次

・体制	・・・	2
・電子カルテ委員会	・・・	10
・検査システム委員会	・・・	13
・部門システム委員会	・・・	17
・セキュリティ委員会	・・・	21
・相互運用性委員会	・・・	24

2024年2月13日
医療システム部会
副部長 湯澤 史佳

体制

医療システム部会

- SS-MIX2仕様策定TF
- 電子処方せん実装ガイド策定TF

電子カルテ委員会

- ・患者安全ガイド専門委員会
- 患者安全ガイド輸血編WG
- ・ePath実装ガイド策定WG

検査システム委員会

- 放射線治療WG
- 検査レポート検討WG
- DICOM WG
- ・臨床検査システム専門委員会
- 臨床検査データ交換規約改定WG
- 外注検査データ交換ガイド作成WG
- ・内視鏡部門システム専門委員会
- ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会

部門システム委員会

- リハビリ計画検討WG
- ・病棟業務支援システム専門委員会
- 看護情報WG
- ・物流システム専門委員会

セキュリティ委員会

- 電子保存WG
- 監査証跡WG
- HPKI電子署名規格作成WG
- セキュアトークンWG
- JAHIS-JIRA合同リモートサービスセキュリティ作成WG
- シングルサインオンWG
- JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
- 教育事業WG

相互運用性委員会

- ・メッセージ交換専門委員会
- HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- 病名情報メッセージ交換標準化WG
- 生理検査メッセージ交換標準化WG
- 注射処置標準化WG
- データ交換規約共通編作成WG
- HL7翻訳合同WG
- IHE WG
- ・データ互換性専門委員会

横串機能

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	部会長	桑原 裕哉	富士通Japan(株)
〃	副部会長	真壁 光男	日本電気(株)
〃	副部会長	湯澤 史佳	キャンメディカルシステムズ(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
-SS-MIX2仕様策定TF	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
-電子処方箋実装ガイド策定TF	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
電子カルテ委員会	委員長	岡田 靖士	日本電気(株)
〃	副委員長	新垣 淑仁	日本電気(株)
〃	副委員長	根来 亮介	(株)ソフトウェアサービス
〃	副委員長	太田 聡司	富士通Japan(株)
・患者安全ガイド専門委員会	専門委員長	坂西 裕	富士通Japan(株)
-患者安全ガイド輸血編WG	リーダー	坂西 裕	富士通Japan(株)
・ePath実装ガイド策定WG	リーダー	根来 亮介	(株)ソフトウェアサービス

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
検査システム委員会	委員長	福重 二三男	(株)日立ハイテク
//	副委員長	近藤 恵美	シスメックスCNA(株)
//	副委員長	龍田 岳一	富士フイルム(株)
//	副委員長	打保 昭典	アイテック阪急阪神(株)
- 放射線治療WG	リーダー	今井 高文	富士フイルム医療ソリューションズ(株)
- 検査レポート検討WG	リーダー	越後 洋一	日本光電工業(株)
- DICOM WG	リーダー	村田 公生	富士フイルム(株)
//	サブリーダー	立石 貴代子	大日本印刷(株)
・臨床検査システム専門委員会	専門委員長	打保 昭典	アイテック阪急阪神(株)
	副専門委員長	磯部 典隆	富士通Japan(株)
- 臨床検査データ交換規約改定WG	リーダー	千葉 信行	(株)エイアンドティー
- 外注検査データ交換ガイド作成WG	リーダー	打保 昭典	アイテック阪急阪神(株)
・内視鏡部門システム専門委員会	専門委員長	龍田 岳一	富士フイルム(株)
・病理・臨床細胞部門システム専門委員会	専門委員長	近藤 恵美	シスメックスCNA(株)
//	副専門委員長	鈴木 昭俊	(株)ニコン

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
部門システム委員会	委員長	真壁 光男	日本電気(株)
//	副委員長	岡本 重敏	富士通Japan(株)
//	副委員長	木戸 須美子	キャノンメディカルシステムズ(株)
-リハビリ計画書検討WG	リーダー	真壁 光男	日本電気(株)
・病棟業務支援システム専門委員会	専門委員長	木戸 須美子	キャノンメディカルシステムズ(株)
//	副専門委員長	安藤 智昭	(株)ケアコム
-看護情報WG	リーダー	汐崎 弘子	日本電気(株)
・物流システム専門委員会	専門委員長	岡本 重敏	富士通Japan(株)
//	副専門委員長	後藤 孝周	PHC(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
セキュリティ委員会	委員長	茗原 秀幸	三菱電機(株)
//	副委員長	梶山 孝治	富士フイルムヘルスケア(株)
//	副委員長	近藤 誠	日本電気(株)
//	副委員長	有馬 一閣	(株)NTTデータ
-電子保存WG	リーダー	近藤 誠	日本電気(株)
-監査証跡WG	リーダー	西田 慎一郎	(株)島津製作所
-HPKI電子署名規格作成WG	リーダー	有馬 一閣	(株)NTTデータ
-JAHIS-JIRA合同 リモートサービスセキュリティ作成WG	リーダー	松本 義和	サイバートラスト(株)
-セキュアトークンWG	リーダー	谷内田 利義	(株)リコー
-シングルサインオンWG	リーダー	山岡 弘明	富士通Japan(株)
-JAHIS-JIRA合同開示説明書WG	リーダー	下野 兼揮	(株)グッドマン
-教育事業WG	リーダー	村田 公生	富士フイルム(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
相互運用性委員会	委員長	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
//	副委員長	中田 英男	日本電気(株)
//	副委員長	窪田 成重	富士通Japan(株)
・メッセージ交換専門委員会	専門委員長	中田 英男	日本電気(株)
//	副専門委員長	平井 正明	日本光電工業(株)
-HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG	リーダー	窪田 成重	富士通Japan(株)
-HIS-RISメッセージ交換標準化WG	リーダー	塩川 康成	キャノンメディカルシステムズ(株)
-病名情報メッセージ交換標準化WG	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
-生理検査メッセージ交換標準化WG	リーダー	村松 和彦	日本光電工業(株)
-注射処置標準化WG	リーダー	西岡 太郎	日本電気(株)
-データ交換規約共通編作成WG	リーダー	中田 英男	日本電気(株)
-HL7翻訳合同WG	リーダー	檀原 一之	日本電気(株)
-IHE WG	リーダー	塩川 康成	キャノンメディカルシステムズ(株)
・データ互換性専門委員会	専門委員長	窪田 成重	富士通Japan(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	運営幹事	山内 俊幸	富士通Japan(株)
//	事務局	大橋 正	JAHIS
//	事務局	寺崎 貴宏	JAHIS

電子カルテ委員会

- ・患者安全ガイド専門委員会
 - 患者安全ガイド輸血編WG
- ・ePath実装ガイド策定WG

(1) JAHIS標準類の策定と各学会との連携

- ・JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(輸血編)Ver.2.1(現バージョン)について日本輸血・細胞治療学会と連携し改版(Ver.2.2)を検討中。
- ・第71回 日本輸血・細胞治療学会学術総会におけるサテライトセミナーにて講演
- ・第21回日本デジタルパソロジー・AI研究会 定時総会において病理編をご紹介
- ・第25回医療マネジメント学会学術総会のシンポジウムにて講演
- ・好生館シンポジウムにて講演

(2) クリニカルパスの標準化に向けた検討

- ・2021年11月にJAMI標準となったePathメッセージについて、ePath実装ガイド策定WGを創設し実装ガイド等のJAHIS技術文書の制定に向けた対応を開始
- ・10月に国内標準化委員会にてご承認をいただき制定
「JAHIS ePath実装ガイド Ver.1.0」として11月に正式公開

(3) JAHIS内外に対する電子カルテ関連の情報提供・連携

- ・データヘルス集中改革プランへの対応
 - ・医療情報を患者や全国の医療機関等で確認できる仕組み(ACTION1)および電子処方箋の仕組み(ACTION2)について、JAHIS他部門や関連団体と連携して意見具申、各種課題を整理し、委員会内・外で情報共有を実施。
- ・電子カルテ情報の標準化に向けた検討
 - ・各種検討会への参加
- ・その他
 - ・外部団体との研究会等への参加
 - ・関連機関からのヒアリング調整依頼や情報共有依頼への対応
 - ・各種資料共有

(1) JAHIS標準類の策定と各学会との連携

- ・ JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド<内服外用編>、患者安全ガイド<注射編>の改定に向けて検討を開始する。
- ・ 日本輸血細胞治療学会との連携継続

(2) 標準的なデータモデル構築に向けた検討

- ・ 今年度は2021年11月にJAMI標準となったePathメッセージについて2022年度に立ち上げたePath実装ガイド策定WGにて実装するためのポイントを整理した実装のためのガイドとしてJAHIS技術文書の制定を行ったが、来年度はそれらをベースとした標準的なデータモデル構築を目指し医療情報学会／クリニカルパス学会と連携した対応を進める。

(3) JAHIS内外に対する電子カルテ関連の情報提供・連携

・データヘルス集中改革プランへの対応

- ・ 医療情報を患者や全国の医療機関等で確認できる仕組み(ACTION1)については来年度に予定されている情報の拡充に向けた対応について、電子処方箋の仕組み(ACTION2)については引き続きの安定運用および機能拡充に向けて、それぞれが円滑に医療機関に導入され普及していくように、JAHIS他部門や関連団体と連携して意見具申を行う。

・電子カルテ情報の標準化に向けた検討

- ・ 電子カルテ情報共有サービス及び全国医療情報共有プラットフォームの実現に向けて、厚生労働省を含めた関連各所との議論を通し、来年度開始予定のモデル事業や本稼働に向けた実装を行う中で見つかった課題の整理と見解の作成、そして電子カルテおよびその周辺システムとして実装すべき機能について現実的な解決策を検討し、意見具申を行う。

検査システム委員会

- 放射線治療WG
- 検査レポート検討WG
- DICOM WG
- 臨床検査システム専門委員会
 - 臨床検査データ交換規約 改定WG
 - 外注検査データ交換ガイド作成WG
- 内視鏡部門システム専門委員会
- 病理・臨床細胞部門システム専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 「JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約 Ver.3.0」 **制定(2023.8発行)**
 - 「JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約 Ver.2.0」(2019.2発行)の定期見直しを実施。
 - 「DICOM Standard 2023c」に準拠・整合性確保
- 「JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.5.0C」 **まもなく制定**
 - 「JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3」、及び他のデータ交換規約個別編等との整合性確保
- 病理・臨床細胞関連学会・研究会での普及活動
 - 第21回日本デジタルパソロジー・AI研究会 定時総会(2023年8月24日～26日 於ウインクあいち)にて、病理・臨床細胞関連のJAHIS標準類を紹介

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

- **IHE-PaLM**のWeb会議参加、情報展開。
- **DICOM Standard Committee**、**WG-13(Visible Light)**、**WG-26(Pathology)**への参画。
国際標準化委員会と連携し、5件70項目のCPack、4件のSupplementの国際投票を実施。
- 「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」にて参照する「JED用語集」のLOINCコードを申請し、審査対応を継続中

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

- JAHIS教育事業「医療情報システム入門コース」の検査システム章に関する教材作成、講師を担当
- 本年度のJAHIS会誌71号において、「医師の働き方改革～タスク・シフト／シェア～において臨床検査システムに期待されていること」(41～42ページ)を記載し、会員全体への情報発信を実施した
- 勉強会・セミナー『ISO 15189認定についてシステムベンダーが知っておくべき知識パートⅡ ～ISO 15189認定の最新情報～』の開催

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

DICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と情報収集・展開。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業、検査システム委員会主催セミナー等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。

部門システム委員会

- リハビリ計画書検討WG
- ・病棟業務支援システム専門委員会
 - 看護情報WG
- ・物流システム専門委員会

(1) 部門システムに係る課題抽出と解決、標準化の推進

- ① 部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
活動成果として、「全体図、連携図、一覧」をホームページに掲載。
- ② 教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動
新たな取り組みとして、ロボット音声を活用。

(2) 病棟業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ① 看護情報のシステム間移行、施設間連携のための標準化
 - ・MEDIS-DCマスタの改善に関する検討と提言を実施。
 - ・JAHIS看護データセット適用ガイド強化のための活動を実施。
- ② 病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索
記録の自動化に関する検討を実施。
- ③ 各種団体との協力による活動の推進

(3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改定・普及促進
「HIS向け医療材料マスターの提供ガイドv1.2」改版を実施。
- ②「医療材料EDI標準化ガイド(仮称)」の策定
- ③物流システムの先進的な内容の研究

(4) リハビリ管理業務の効率化、標準化の推進、介護連携の強化

- ①リハビリ計画書連携の標準化推進
- ②リハビリシステム業務の標準化推進

(1) 部門システムに係る課題抽出と解決、標準化の推進

- ・部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ・教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

(2) 病棟業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・看護情報のシステム間移行、施設間連携のための標準化
- ・病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索
- ・各種団体との協力による活動の推進

(3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及促進
- ・「医療材料EDI標準化ガイド(仮称)」の策定・普及促進
- ・物流システムの先進的な内容の研究
- ・各種団体との協力による活動の推進

(4) リハビリ管理業務の効率化、標準化の推進、介護連携の強化

- ・リハビリ計画書連携の標準化推進
- ・リハビリシステム業務の標準化推進

セキュリティ委員会

- 電子保存WG
- 監査証跡WG
- HPKI電子署名規格作成WG
- セキュアトークンWG
- JAHIS-JIRA合同
リモートサービスセキュリティ作成WG
- シングルサインオンWG
- JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
- 教育事業WG

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対応し、**JAHIS「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイドVer.4.1 (MDS/SDS)**、**JAHISセキュアトークン実装ガイド・機器認証編Ver.1.1**の改定を実施した。

(2) JAHIS標準類のISO化ならびにISOのJAHIS標準への組み込み

- ・**18-006JAHISヘルスケアPKI**を利用した医療文書に対する**電子署名規格Ver.2.0**についてFHIRにおいて推奨されているJSON用の長期署名フォーマットを追加する改定を実施。改定作業が始まった**ISO17090-4 (HPKI電子署名)**の検討結果を受け最終原案に反映。

(3) クラウド化、マルチプラットフォーム化への対応

- ・**HPKI用いたリモート署名への対応検討**や**MDS/SDSの解説書、Q&A、テンプレート提供、リモート保守のサンプルSLAやサンプルSDSの提供**などを実施した。

(4) JAHIS標準類の啓発活動の実施

- ・事業推進部と協力し、**標準化セミナー**や**MDS/SDS書き方セミナー**などを開催した。また、戦略企画部と協力し**MDS/SDSの個別質問対応**や**厚生労働省との調整**を実施した。

(5) 国のセキュリティ関連施策検討に対する協力

- ・総務省・経済産業省の「**医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン**」の改定に向けた**有識者委員会**に委員派遣を実施した。
- ・厚生労働省の「**介護情報の安全管理に関する調査研究事業検討委員会**」に委員派遣を実施した。
- ・総務省・厚生労働省・経済産業省による「**医療情報システムの契約のあり方等に関する有識者委員会**」に委員派遣を実施した。
- ・厚生労働省・支払基金・アクセンチュアの**電子処方箋ならびに電子カルテ共有サービスのリスクアセスメント**に協力した。
- ・総務省・消防庁・アクセンチュアによる**救急隊の医療情報参照に関するリスクアセスメント**に協力した。

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対する、**JAHIS標準類のタイムリーな追従、改定**を実施する。

(2) JAHIS標準類のISO化ならびにISOのJAHIS標準への組み込み

- ・FHIRセキュリティの動向などを踏まえ、**JSON長期署名フォーマットをJAHIS標準「ヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格」に組み込み、ISO17090-4の改定に反映**するよう働きかける。
- ・**JAHIS標準「リモートサービスセキュリティガイドライン」と整合をとる形でISO/TS11633の改定作業**を実施する。

(3) クラウド化、マルチプラットフォーム化への対応

- ・MDS・SDSに対する**クラウド環境における利用を想定したQ&Aや解説書などの作成と普及啓発活動**を実施する。
- ・**FHIRセキュリティの調査とSSO環境構築に向けた要件定義の支援**を実施する。

(4) JAHIS標準類の啓発活動の実施

- ・事業推進部と協力し、**標準化セミナーや解説講座**などを継続的に開催する。また、JIRAセキュリティ委員会と協力し、**JAHIS/JIRA合同セミナー**等の開催を企画する。

(5) 国のセキュリティ関連施策検討に対する協力

- ・**国の主催する各種検討会のWGや作業班にメンバーを派遣**するなどにより、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」の改定作業などに協力する。また、必要に応じてその他の**実証事業、調査研究事業**に対して協力する。

相互運用性委員会

メッセージ交換専門委員会

- HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- 病名情報メッセージ交換標準化WG
- 生理検査メッセージ交換標準化WG
- 注射処置標準化WG
- データ交換規約共通編作成WG
- IHE WG
- 次世代データ交換技術WG

データ互換性専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定

① 注射データ交換規約 Ver.2.2C

制定後3年を経過したため、データ交換規約(共通編)Ver.1.3への対応、適合性宣言書の採用、HL7 V2.5日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、外部出版社による原案の校正の実施、などを行い、2024年1月に**JAHIS**標準として制定済

～ 策定作業中のJAHIS標準類 ～

② 病名データ交換規約 Ver.3.2C

制定後3年以上が経過したため、改版作業を実施中。注射データ交換規約と同様の作業の他、病名情報の照会についてはHL7 FHIRの採用も検討する予定

(2) 実装システムの検証

「JAHISデータ互換性実証実験2023」の開催(予定)

- 開催期間: 2/19~2/22の4日間
- 開催場所: 完全リモート開催
- HISベンダ4社が参加する予定
- 実施テーマ:
 - (1) JP Coreに基づくPatientリソースのエクスポート・インポート
 - (2) 診療情報提供書HL7 FHIR記述仕様に基づくBundleリソースのエクスポート

(3) 標準化の普及推進

- HL7 FHIR日本実装検討WG、「ヘルス&ケアデータプロセスモデル」国際規格開発委員会等への委員派遣や「透析情報標準規格(FHIR記述仕様)」の校閲
- HL7セミナー: 次世代データ交換技術WGの活動内容に関する講演(11/22)
- 第43回医療情報学連合大会: 共同企画10「電子処方箋をめぐる諸課題は解決したか—これから運用を始めるために—」の共同座長(11/25)
- 11年連続となる「薬剤に関する医療情報セミナー」の開催(2/9)
- IHE WG、HIS-RIS WGからRSNA、IHE国際会議、DICOM DSCの視察(11月末)

～ 今年度同様、以下のような活動に取り組む予定 ～

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通的な課題に取り組む。
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行う。
(**病名情報、処方情報**)
- 既存の標準類や新たなテーマで、**HL7 FHIR**も活用した検討を行う。

(2) 実装システムの検証

- 過去17年間行ってきたJAHISデータ互換性実証実験を継続し、**HL7 FHIR**ベースのテーマ(**電子カルテ情報共有サービスなど**)に取り組む。
- 各種ツールの整備やテーマの拡大、**HL7 FHIR**対応も図る。

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。**セミナー(講習会)**等も企画する。
- IHE WGでの情報共有や勉強会、**RSNA、IHE国際会議等への参加**を継続する。
- 新たに発足した**次世代データ交換技術WG**にて、**HL7 FHIR**等についての情報共有や意見交換を行う。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました